

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 2月 27日

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 COPAINあさひ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		パーテーションや個室を使用して一人ひとりの区切りを設けています。	
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		事業所内はフラットです。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		ご意見やご要望を職員全員で把握し、対応策を考えたり業務・支援内容に落とし込んで業務改善へと繋げています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		・重要事項説明書に第三者評価は会社規模により行わない旨を記載しております。自己評価を行い業務改善に繋げていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		月1回の社内研修を行うと共に個々でも社外研修への参加を積極的に行っております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	3		・児童発達支援管理責任者がアセスメントを行い、個別支援計画を作成しております。また個別支援計画を作成する際は職員間で会議などを行い、子どもと保護者のニーズの確認をしております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			・初回は標準化されたアセスメントシートを使用し、2回目以降は個別支援計画をもとに1人ひとりの課題やニーズに合わせて変えております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		常に相談して考案し目標を共通理解しております。個別支援であるため日々の活動内容は担当の支援員が決めております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		利用者の意見を大切にしている。	日々変化のある子どもの様子やニーズに対応し固定にならないよう、またローテーションで支援内容を変えております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		季節ごとの創作や、長期休暇中は余暇時間を多めにするなどして対応しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		4		・個別活動のみを基本として行っております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎朝朝礼をして来所されるお子様の情報共有を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・必ず振り返りを行っています。 ・HUG等で共有したり、直接話したり。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		HUGに記録を記載している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	3	日々の子どもの様子や保護者様のニーズをもとに定期的な計画の見直しを行っております。	・児童発達支援管理責任者が定期的にモニタリングを行っております。日頃の子どもの様子や保護者のニーズなどを職員間で話し合い、計画の見直しを判断しております。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		送迎を行っていないので基本は保護者様から学校の情報をお聞きしますが、必要であれば学校と連絡をとったり担当者会議に出席しております。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		保護者様との連絡体制を整えています。		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		保護者様からの情報で、情報共有と相互理解に努めております。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4		移行された方はまだおりません。今後必要な際は個々に対応したいと思います。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		受けております。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		個別サービスであるためそのような機会は設けておりません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1		放課後等デイサービスに関わることであれば参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			送迎時に保護者様と話す機会を設けております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2			必要であれば今後個々に対応したいと考えております。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1			管理者が説明を行っております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			出来る限り対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		個別なので希望をとる必要があります。	保護者様からの要望があれば今後検討したいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				現段階でございませんが、フォーマットは作成済みですので苦情があった場合は速やかに対応したいと思います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			会報等の発行はございませんが、お伝えしたい重要なことはHUGやLINEにて情報を発信しております。	
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		4		個別なので希望されない方もいます	現時点ではそのような活動をする予定はございません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		事業所内に張り出しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		年に1回の訓練を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止委員会の設置と年に2回の社内研修また個々で外部研修にも参加しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1			やむを得ず身体拘束を行う場合の判断基準は決定しておりますが、身体拘束をしなくても大丈夫なよう支援体制を整えております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3	保護者様からの申請により事前に確認しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			